



機関別評価における
大学及び短期大学の創意工夫を促すための弾力的措置
一点検・評価にあたっての考え方、
点検・評価報告書の作成内容について—

公益財団法人 大学基準協会



点検・評価にあたっての考え方

点検・評価にあたって

1

焦点の設定



理念・目的、中長期計画などを踏まえて、点検・評価において何を明らかにしたいのかを明確にする。

例えば…

2

点検・評価のプロセス・体制の決定



設定した焦点などを踏まえて点検・評価のプロセスや体制を決定する。

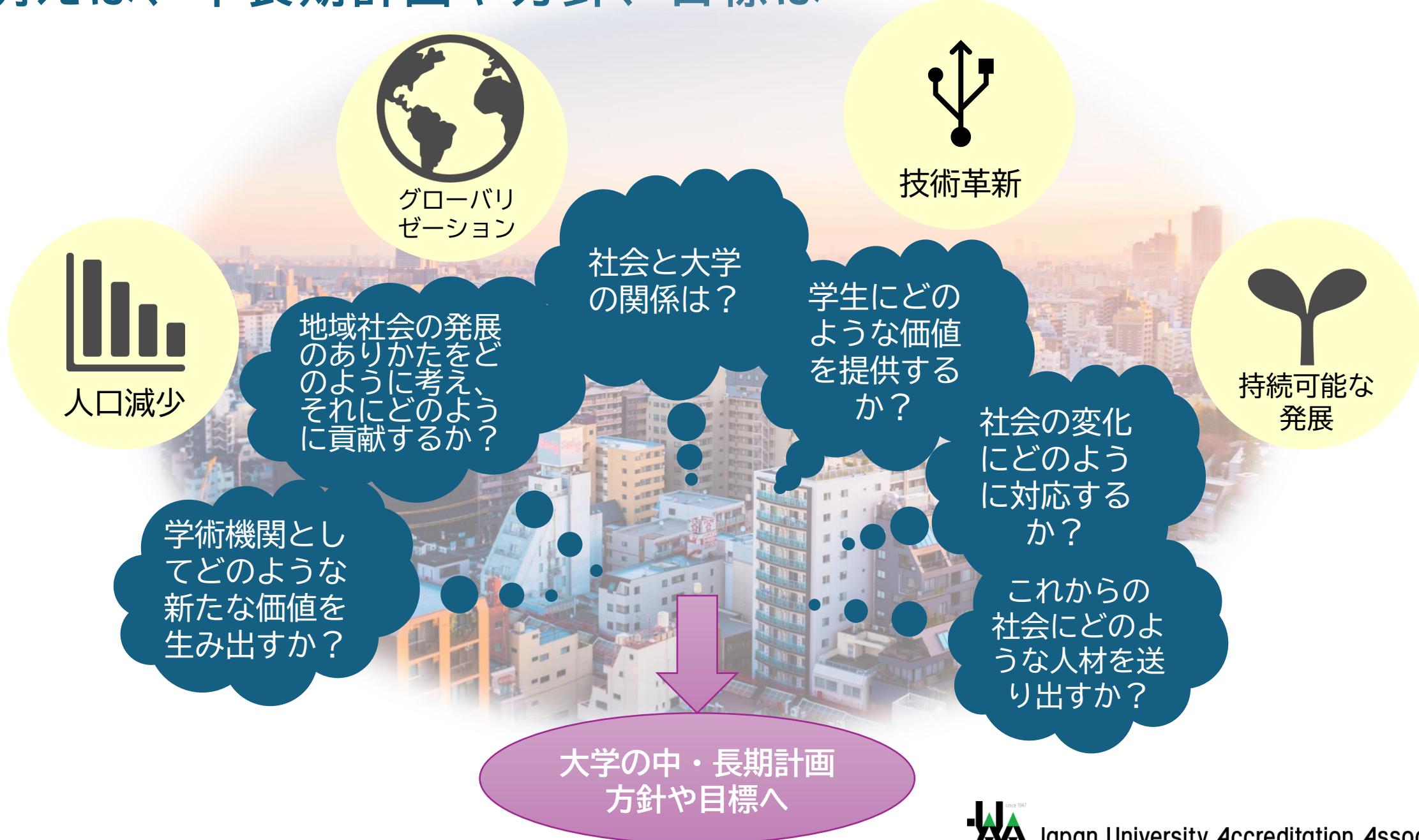
3

参照する情報・資料の特定と整理

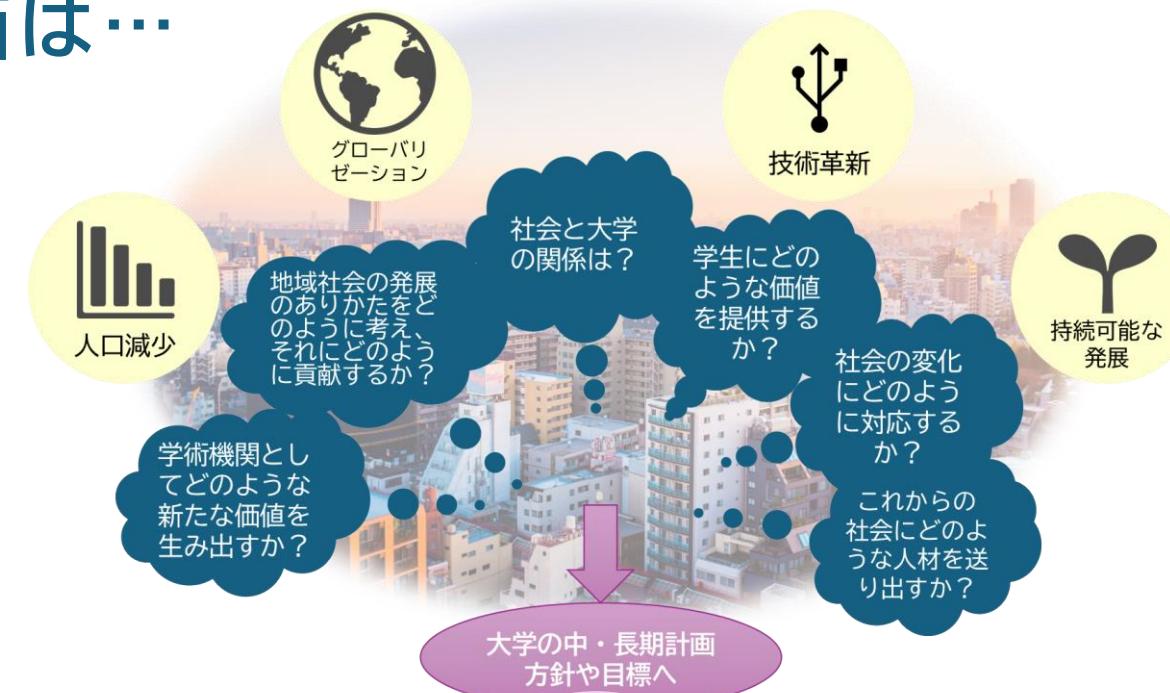


点検・評価する内容に応じ、参照すべき情報・資料が何かを特定し整理する。

例えば、中長期計画や方針、目標は…



では、点検・評価は…



例えば…

取り組みの
結果・成果を踏まえた
現状分析と今後の
検討

今後さらに
重点的に取り組
むべきことは？

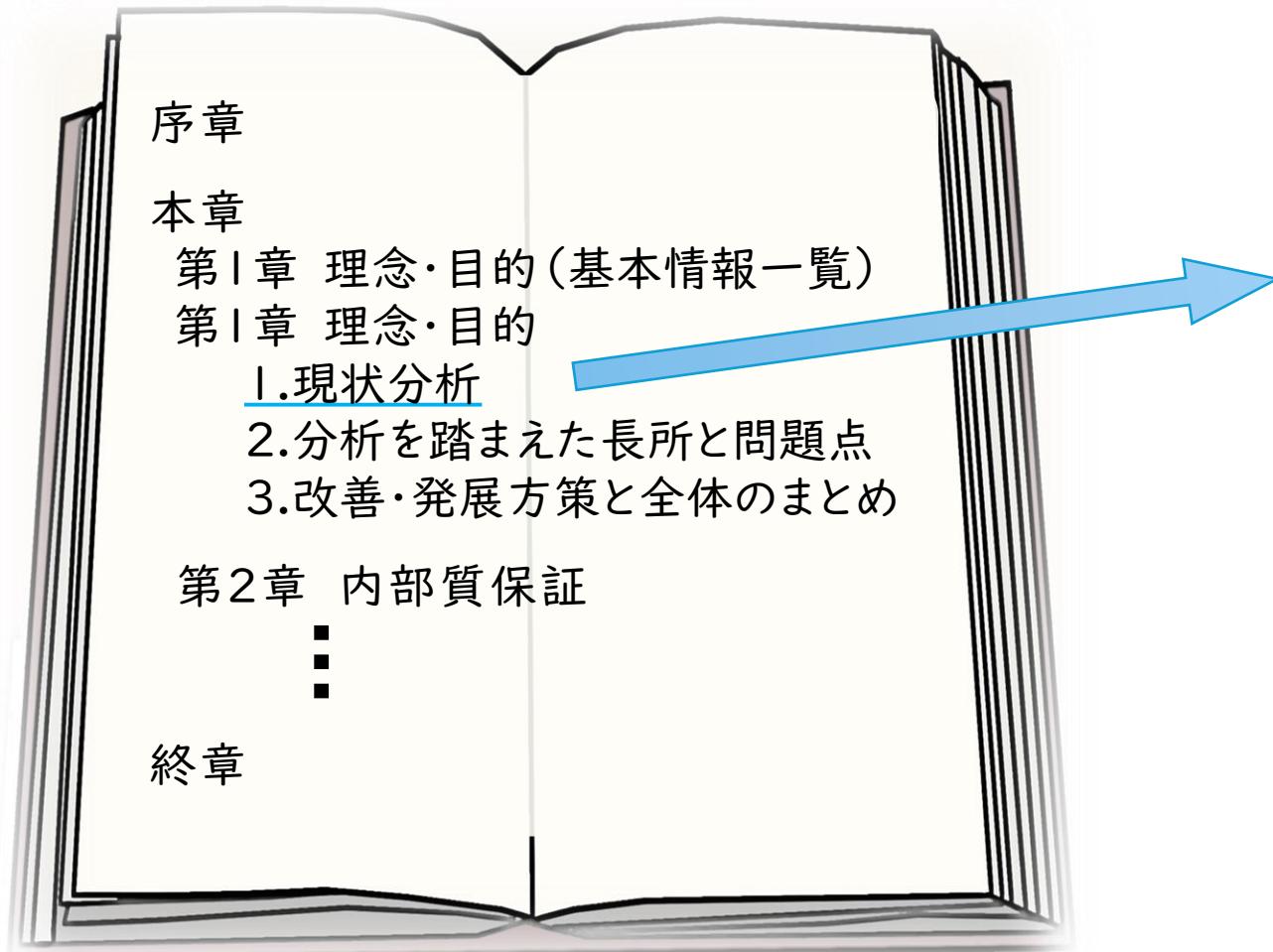
どこに課題が
あるのか？

現状は？



点検・評価報告書の作成内容

点検・評価報告書の構成



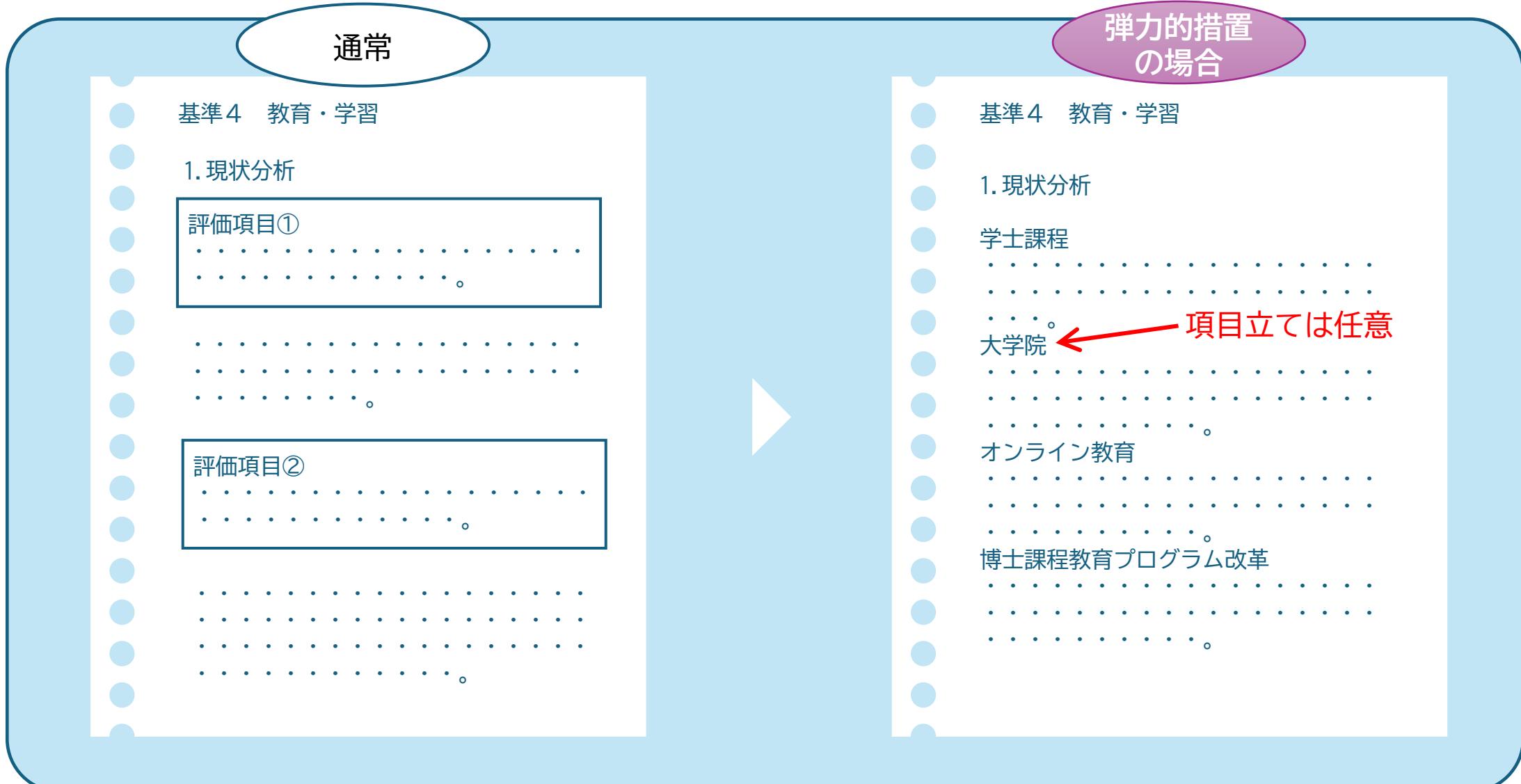
現状分析の部分の記述スタイルを弾力化。
(但し、第10章「大学運営・財務」は対象外。)



- ✖ 評価項目ごとに現状分析
- 評価項目単位とせず、章全体で現状分析

序章から終章までが
70~100頁 (40字×40行)となるように。
(基本情報一覧は上記頁数に含まず。)

点検・評価報告書「現状分析」の記載イメージ



点検・評価の基本

- 各大学・短期大学の創意工夫によるさらなる個性の伸張と、それによる理念・目的の実現の後押しが本措置の目的。



{ 目下重点を置く取り組みの成果・達成度
今後の発展を期するための検証（自己点検・評価）と改善の実態

- 点検・評価に際し適切性判断の基準（＝大学評価・短期大学認証評価時の基準）は、大学基準、短期大学基準であることに変更なし。



次のスライド以下でご説明する「3要素」及び、大学基準、短期大学基準の各基準の補足事項は、大学基準、短期大学基準から導かれるエッセンスであることに留意。＝大学基準、短期大学基準を傍らにご用意を。

基本3要素

【要素1】理念・目的の実現に向けた現在の中・長期の計画、方針、目標等。すなわち、取り組みの成果・達成度を理解する背景となる大学の考え方。

【要素2】上記の計画、方針、目標等に従った取り組みの達成状況（達成した内容に対する大学としての適切性判断含む）。また、成果・達成度を分析する関連において、その成果・達成度を導いた取り組みの実態と適切性。

【要素3】今後の発展を期していくために行っている検証・改善の実態（改善した内容含む）。なお、前回の認証評価において改善提言が付いたもの※は、この点検・評価の一貫で、改善の取り組み内容とその成果についても含む。

※認証評価機関に改善報告を行い、付帯事項なく改善したと認められたものを除く）。



3要素を核とすることで、
目下重点を置く取り組みの成果・達成度、
今後の発展を期するための検証（自己点検・評価）と改善の実態が
見えることが重要。

各基準の点検・評価と基本3要素

- 基準1～9の点検・評価は基本3要素を押さえることが必要。
(ただし、【要素1】は、主に基準1。補足することがなければ他基準では不要。)
- 基本3要素に関し、各基準個別事項に即した補足事項は次スライド以下の通り。



- ✖ 点検・評価報告書の内容を「指定」するもの。
- 少なくとも含んでいて欲しい内容。創意工夫によるさらなる個性の伸張と、それによる理念・目的の実現の後押しが本措置の目的であるため、各大学が重点を置いて取り組む内容に沿って点検・評価することが先決。
(この点検・評価、大学評価の機会を是非大学の発展に活かしてください。)

基本3要素に関する各基準の補足—基準1—

- 理念・目的の実現に向け、現在施行中の中・長期の計画、方針、目標等の内容を点検・評価報告書に記載し、何に重点を置いているのか分かるようにしてください。また、当該計画等を持つに至った背景(どのような現状認識に基づいた結果など)を説明してください。([要素1、2])
- 中・長期の計画、方針、目標等の達成状況を検証する取り組みについて実態を説明してください。([要素3])



点検・評価報告書第2章(基準2)以降の導入となるように。



基本3要素に関する各基準の補足—基準2—

- 内部質保証は、教育及び学習等の諸活動の適切性を確保する目的を持つことに鑑み、基準3以降で点検・評価する各種取り組みとの関連を意識した記述が必要です。すなわちそれらを適切に行うために内部質保証の仕組みをどのように運用しているかや、運用の結果としてどのような改善等の結果が現れているかを説明してください。(【要素2】)



単に体制・手続の紹介(…委員会がある、…委員会で作成後に教育研究評議会で審議する、etc.)にならないように。

運用とその結果が分かるように(…〇〇に対応するために立ち上げた〇〇先端教育プログラムについては、〇～〇年度の重点点検・評価対象とし、…。…年のモニタリングによって明らかになった課題については、〇〇という措置につながり、プログラムが充実する結果となった。etc.)。

基本3要素に関する各基準の補足—基準2—

- 上記に際し、特にプログラムレベル(学部・研究科レベル)、授業科目レベルでの質保証活動に関しては、それぞれの学部・研究科において着実な取り組みがなされるように、全学として行っている調整、支援等の内容も、適切性を含めて点検・評価し記述してください※。
([要素2])

※ なお、基準4の【要素3】としてもプログラムレベル、授業科目レベルの質保証活動の実態を点検・評価することが必要ですが(後述)、内容の違いに注意が必要です。
- 内部質保証システム自体の改善・向上のために、どのような点検・評価を行い改善した実績があるかを説明してください(評価項目③に従って点検・評価)。([要素3])

教育・研究活動の直接的な点検・評価ではないことに注意。



基本3要素に関する各基準の補足—基準3—

- 組織改編など、中・長期の計画、方針、目標等に関わって実施した(又は、実施しようとしている)教育研究組織の編成に関する取り組みを説明してください。(【要素1、2】)
- 教育研究組織に関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。(【要素3】)

※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

点検・評価の過程やその後の改善策の検討、実施といったことが、基準2で示した全学的な内部質保証の取り組みとどのような関係を持っているか分かるように記述することが必要。

全ての事がらを、内部質保証の中心を担う1つの組織が管掌しなければならないという意味ではない。

以下の基準も
同様



基本3要素に関する各基準の補足—基準4—

- 学生の学習成果として把握した内容等に基づき、教育の達成度を分析した結果を記述するとともに、教育活動の実態と適切性を説明してください(学位授与方針と実際の成果との関係性、当該成果につながった教育活動の実態と適切性等)。【要素2】
- プログラムレベル、授業科目レベルでの点検・評価と改善の実態を説明してください※。【要素3】

※ 評価項目⑥に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。



本協会側が成果の良し悪しを直接評価するものではない。学習成果をもとに、これまでの教育の効果を大学として確かめ、達成できしたことや今後の課題を明らかにする作業が必要。点検・評価報告書にはその内容を記述。なお、有効な取り組みについては積極的に記述することが望まれる。

基本3要素に関する各基準の補足—基準5—

- 入学者選抜において公正性をどのように確保しているかということと、現在の措置の適切性を点検・評価し記述してください。([要素2])
- 入学者数や在籍学生数の管理の実態と教育・学習環境を確保する観点から見た学生数管理の適切性を点検・評価し記述してください。([要素2])
- 学生の受け入れに関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。([要素3])
※ 評価項目③に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。



基本3要素に関する各基準の補足—基準6—

- 学習成果の達成につながる教育や、大学が目指す研究を展開するため、どのような編制方針のもとで教員組織を編制しているか、その実態と適切性を点検・評価し記述してください。
- 上記のうちには、教員が担う責任の内容、科目適合性の学内での判断、各教員の担当授業科目、担当授業時間の把握・管理(複数学部、他大学・企業等との兼務教員について業務状況や教育効果含む)の内容を含めてください(専任教員制・基幹教員制共通)。

単に編制方針への適合性が点検・評価され、記述されるだけでは不十分。大学の目指す教育、研究の在り方に適った教員組織であるかを問い合わせながら現状の適切性を点検・評価することが必要。



基本3要素に関する各基準の補足—基準6—

- 授業において指導補助者を活用している場合は、その実態と適切性を点検・評価し記述してください。(【要素2】)
- ファカルティ・ディベロップメントの取り組みと成果を説明してください。また、教員・教員組織に関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。(【要素3】)

※ 評価項目④に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。



研修に関することも含む。

基本3要素に関する各基準の補足—基準7—

- 学生支援を通じて学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ることができているか
点検・評価し記述してください(基準4で点検・評価した教育・学習の内容に鑑みて、その適切な実施に資するものかという観点からも適切性を分析)。([要素2])
- 学生支援に関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。([要素3])
※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

修学支援(学習面、経済面)、生活支援、進路支援、その他の支援の4つを等しく網羅する必要はない。大学として重点を置く取り組みを中心に、「学生が学習に専念し、安定した学生生活を送ができているか」という大学基準の最も根本的な内容に答えるよう点検・評価することが必要。



基本3要素に関する各基準の補足—基準8—

- 教員の教育活動、研究活動及び学生の学習の3点に関し、施設・設備等の環境整備や、研究支援等の条件整備をどのように行い、そしてその成果として何を達成しているかを説明してください※。([要素2])

※ 上記に関し、教員の教育活動、研究活動及び学生の学習の3点それぞれについて点検・評価が必要ですが、点検・評価における重点の置き方は、中・長期の計画等の内容によって異なっていて構いません。

- 教育、研究及び学習の環境・条件整備と運用に関する点検・評価と改善の実態について説明してください※。([要素3])

※ 評価項目④に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。

点検・評価において注意が必要。



基本3要素に関する各基準の補足—基準9—

- 重点を置いている取り組みの成果・達成度を点検・評価し記述してください。([要素2])
- 社会貢献・社会連携に関する点検・評価と改善の実態を説明してください※。([要素3])
※ 評価項目②に従って点検・評価してください。なお、基準2での点検・評価内容との関係性が不明確にならないよう注意が必要です。



点検・評価報告書の作成方法などに関するご相談はこちらまで。

問い合わせ先

公益財団法人 大学基準協会 評価研究部 企画・調査研究課
<https://www.juaa.or.jp/> [kikaku<at>juaa.or.jp](mailto:kikaku@juaa.or.jp)
<at>を@にしてください。